

CallManager 会議ブリッジの状態： KEEPALIVE_FAILED

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[KEEPALIVE_FAILED 状態に陥った会議ブリッジ](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco CallManager 会議ブリッジが失敗して KEEPALIVE_FAILED というエラーメッセージが表示される場合のトラブルシューティング方法を説明します。会議ブリッジが修正されるまで、場合によっては無期限の期間使用できなくなります。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco CallManager 4.1(3)および Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3 が稼働している Cisco 2800 シリーズ ルータに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

ハードウェア対応の会議は、ハードウェアでの音声会議をサポートします。デジタルシグナリングプロセッサ (DSP) が、複数の Voice over IP メディア ストリームを単一の電話会議ストリームに混合された TDM ストリームに変換します。サポートされる電話会議の数は、使用可能な DSP の数に左右されます。そのため、会議ブリッジを適切に終了しないと、DSP を再利用できません。IOS ゲートウェイで会議ブリッジを設定する方法に関する詳細については、「[CallManager および IOS ゲートウェイ DSP ファームの設定例](#)」を参照してください。

KEEPALIVE_FAILED 状態に陥った会議ブリッジ

電話会議がアクティブな間に、Cisco CallManager が登録された会議ブリッジに到達できなくなった場合、会議ブリッジは KEEPALIVE_FAILED 状態になります。さらに、会議ブリッジは、すべての参加者が電話会議からなくなった後も、おそらく WAN 経由で長時間メディア信号を送信し続け、DSP リソースは他の電話会議に再利用できません。

解決策

KEEPALIVE_FAILED のエラーは、会議ブリッジがクラスタ内で使用可能な別の CallManager スイッチにスイッチ バックしないために発生します。この問題を解決するには、ゲートウェイでスイッチオーバー メソッドを使用するように指定する必要があります。

アクティブな Cisco Unified CallManager と Skinny Call Control Protocol (SCCP) クライアント間の通信リンクがダウンすると、SCCP クライアントは次のいずれかのスイッチオーバー メソッドを使用してセカンダリ Cisco Unified CallManagers の 1 つに接続しようとします。

- **Graceful** : Cisco Unified CallManager のスイッチオーバーは、すべてのアクティブ セッションが正常に終了した後にのみ実施されます。デフォルトの方法は次のとおりです。
- **Immediate** : アクティブな接続があるかどうかにかかわらず、SCCP クライアントがセカンダリ Cisco Unified CallManager のいずれかにただちにスイッチオーバーします。SCCP クライアントがセカンダリ Cisco Unified CallManager に接続できない場合、そのクライアントは Cisco Unified CallManager の接続にポーリングし続けます。

1. スwitchオーバー メソッドは、`scpp ccm group` 設定で指定できます。 `gateway(config)#scpp ccm group 1 gateway(config-scpp-ccm)#switchover method immediate` 注: dspfarm で電話会議用に複数のプロファイルを設定しているのであれば、スイッチオーバー メソッドを **graceful** として使用します。
2. メディア メッセージを送信するメディア ブリッジを終了するには、RTP メッセージがタイムアウトする必要があります。これは、ゲートウェイ設定で受信 RTP タイマーを変更する際に実行できます。 `gateway(config)#gateway gateway(config-gateway)#timer receive-rtp 180` デフォルトのタイムアウトは 1200 秒 (20 分) 後にのみ実行されます。

関連情報

- [ハードウェアによる会議ブリッジの設定と CallManager および Catalyst 6000/6500 WS-X6608 ポートでの使用](#)
- [会議ブリッジの設定](#)
- [音声に関する技術サポート](#)

- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)